

豊橋市まち・ひと・しごと創生総合戦略（概要）

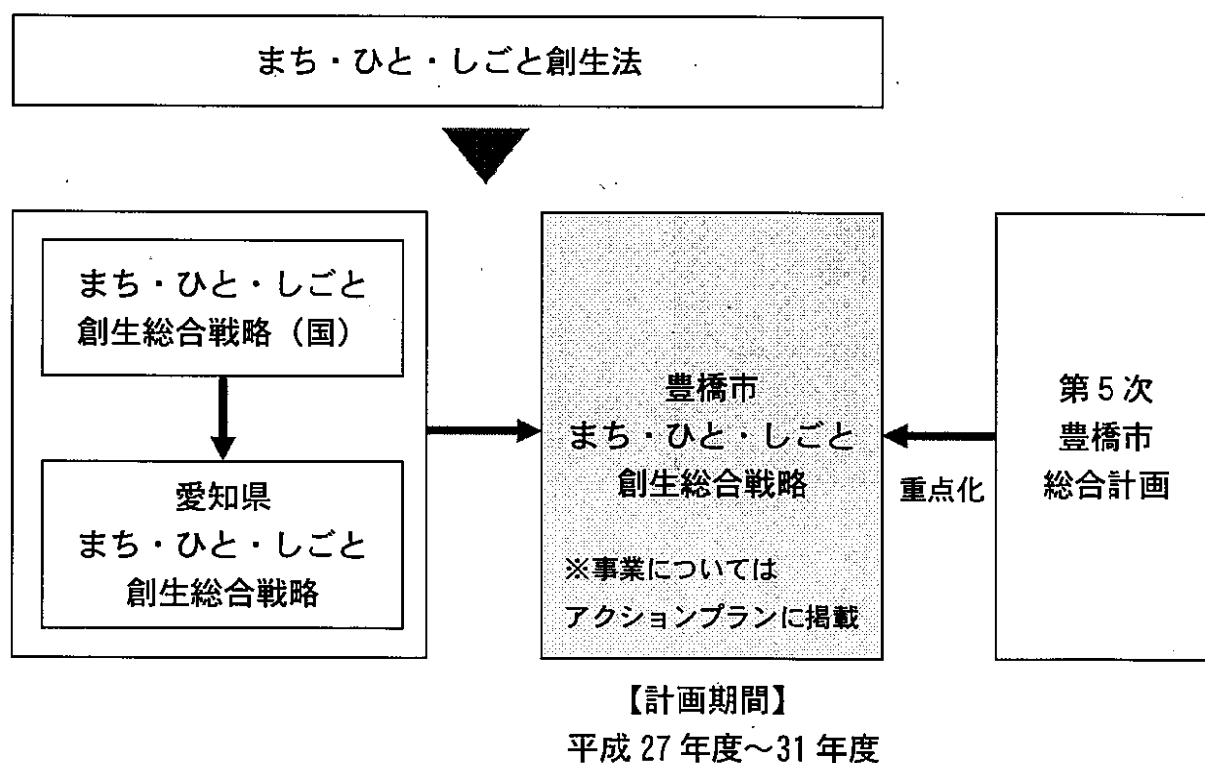
I 基本的な考え方

1 策定の背景及び趣旨

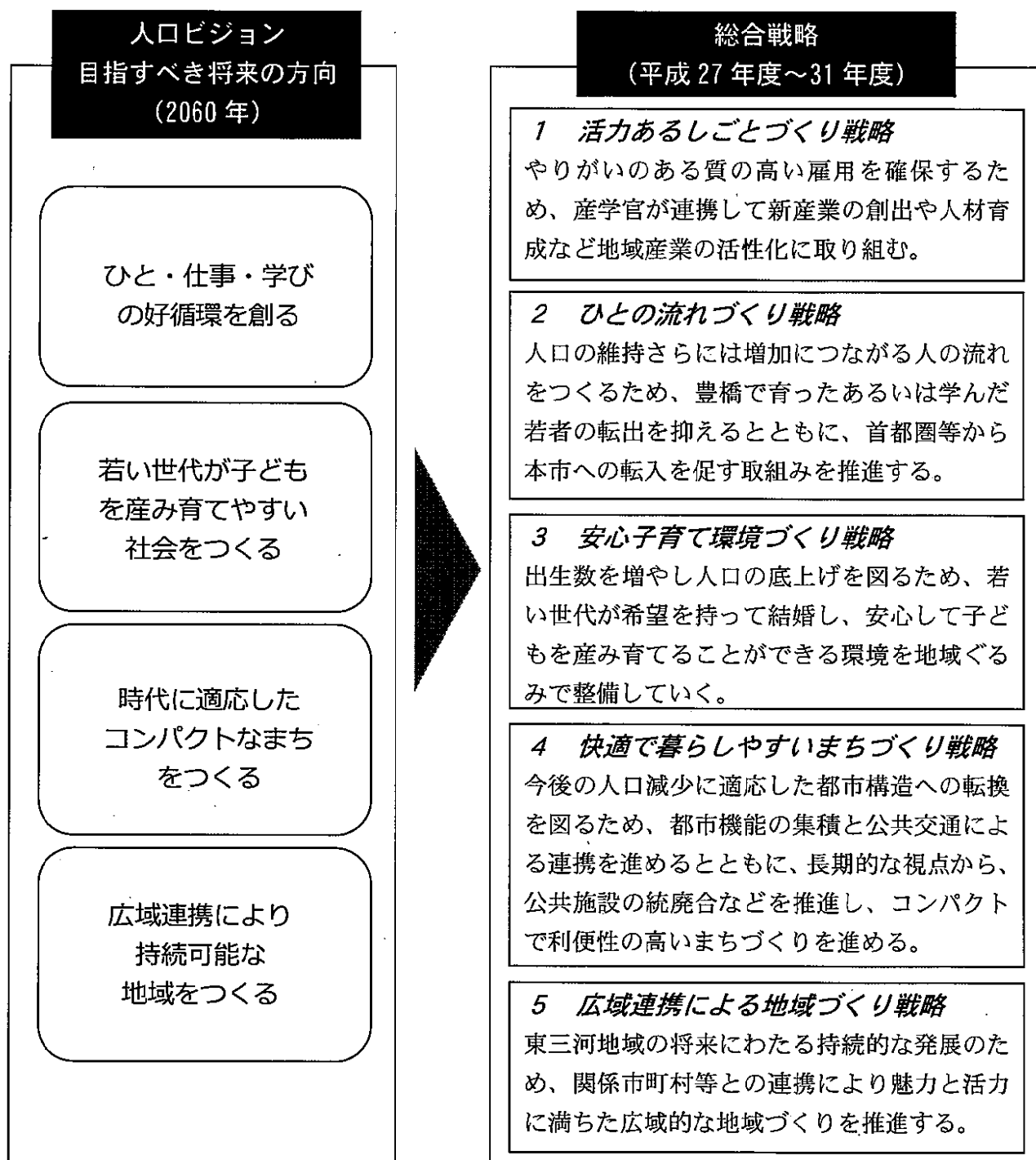
人口減少が現実のものとなった本市が、将来にわたって活力を保ち、持続的に発展していくためには、本市の特長を活かしながら「しごと」と「ひと」の創生を図るとともに、それを支える時代に合った「まち」の創生を進めることが重要です。

この「豊橋市まち・ひと・しごと創生総合戦略」（以下「総合戦略」という。）は、こうした考えの下、長期的な人口見通しを踏まえ、本市の創生に向けた取組みを総合的に推進するため、今後5年間の基本目標と施策の基本的方向及びそれに基づく施策をまとめたものです。

2 位置付け及び計画期間



II 創生に向けた総合的対策



3 安心子育て環境づくり戦略

<基本目標>

出生数を増やし人口の底上げを図るため、若い世代が希望を持って結婚し、安心して子どもを産み育てることができる環境を地域ぐるみで整備していきます。

数値目標	基準値	目標値
合計特殊出生率	1.53 (平成26年度)	1.65 (平成31年度)
婚姻届提出数	1,866件 (平成26年度)	2,100件 (平成31年度)

<基本的方向>

- 若い世代が将来に希望を持てるよう、魅力と活力にあふれたまちづくりを進めるとともに、情報提供など様々な取組みを通し、結婚することや家族を築くことに対する前向きな気持ちの醸成を図ります。
- 誰もが安心して子どもを産み育てられるよう、豊橋市民病院における総合周産期母子医療センターを中心とした周産期医療や、保健所・保健センター「ほいっぷ」を中心とした母子保健を推進します。
- こども未来館「ここにこ」を中心とした子育て支援拠点事業のほか、保育園、幼稚園、認定こども園、放課後児童クラブにおける子育て支援サービス、きめ細かな学校教育などの充実を図り、妊娠、出産、子育てにわたる切れ目のない包括的な支援体制を構築します。
- 子育てをしながら仕事においても能力を発揮し活躍できるよう、企業と連携して、ワーク・ライフ・バランスを推進します。そうした中で出産後に復帰しやすい職場づくりを促進するほか、子育て世代を地域ぐるみで温かく見守り応援する地域づくりを進めます。

3 安心子育て環境づくり戦略

3-1 結婚、出産、子育ての包括的支援体制の構築

結婚から、出産、子育てに至るまで、関係機関が連携し切れ目なく支援を行う体制を構築します。

重要業績評価指標（KPI）	基準値	目標値
母子健康手帳交付時における 妊婦への面接率	50.8% (平成26年度)	100% (平成31年度)

1 妊娠・出産・子育てコンシェルジュ事業

妊娠・出産に関する総合相談窓口を保健所・保健センター「ほいっぷ」に設置し、本市のすべての妊産婦に、専門的知識を有する保健師・助産師がママサポーターとして寄り添い、一人ひとりの妊産婦が抱える悩みをしっかりと受け止め、細やかな相談対応や情報提供、支援計画の作成を行います。また、子育てに関する総合相談窓口をこども未来館「ここにこ」に設置し、保健師等がチャイルドサポーターとして、ママサポーターと連携しながら、子育ての相談対応を行うとともに、保育園等の利用相談、情報提供も行います。このほか、身近な子育て支援拠点である地域子育て支援センターにおける相談対応や情報提供を充実していきます。こうした先駆的な取組みにより、誰もが安心して子どもを産み育てられるまちを目指します。

- 母子健康手帳交付時及び妊娠後期の個別相談事業
- 子育て支援プラットフォーム事業

2 婚活・妊活応援事業

結婚を希望する方を対象とした結婚支援セミナーを開催し、結婚、妊娠・出産、子育てなどライフプランの設計を支援し、結婚や家庭を持つことの意味や楽しさについて考えるきっかけを提供することで、結婚の希望をかなえるためのサポートをします。また、望んだ時期に妊娠・出産ができるよう妊活に関するセミナーを開催するとともに、不妊治療に要する費用の一部を補助し、経済的負担の軽減を図ります。

- ◎結婚支援事業
- 女性の健康支援事業
- 不妊治療費補助金

3 安心出産サポート事業

妊産婦が安心して出産し産後の育児ができるよう、ハイリスク妊婦の受け入れなど総合周産期母子医療センターによる充実した周産期医療を提供するとともに、妊婦・乳児健康診査や、生後2か月の乳児の家庭を対象とした全戸訪問による育児相談や情報提供を行います。

- 市民病院における周産期医療の充実
- こんにちは赤ちゃん訪問[※]事業（看護師等による訪問）
- 妊婦・乳児健康診査

3-2 子育て支援サービスの充実

地域の子育て支援拠点のほか、認定こども園や放課後児童クラブなどにおける子育て支援サービスを充実させるとともに、一人ひとりの個性や能力に応じたきめ細やかな教育を推進します。

重要業績評価指標（KPI）	基準値	目標値
認定こども園数	2園 (平成26年度)	21園 (平成31年度)

1 認定こども園整備事業

子育て世代の多様なニーズに対応するため、こじか保育園を認定こども園として整備し、教育・保育を一体的に実施するほか、病児保育、子育てに関する相談や情報提供など併せて実施します。これにより、総合的な機能を有する地域の子育て支援拠点として、南部地域の子育て世代を支援します。また、幼稚園や保育園の認定こども園への移行を促進します。

- 公立保育園整備事業（こじか保育園整備事業）
- 法人保育所・認定こども園整備費補助金

2 子育て家族応援事業

経済的な不安を抱かずに子育てできるまちを目指し、所得の低い家庭の保育料や3人目以降の子どもの保育料を見直すとともに、ひとり親家庭のファミリーサポートセンター利用料を助成するなど、子育て世代の家計の負担を軽減します。

- ◎ファミリーサポートセンター事業
- 保育料の見直し

3 子どもの居場所づくり事業

地域の身近な子育て交流拠点として、つどいの広場^{*10}やここにこサークル^{*11}を実施するほか、放課後児童クラブをさらに拡充するとともに、多様化する子育てニーズに対応するための新たな放課後児童対策のあり方を検討します。

- つどいの広場の開催
- 放課後児童対策事業
- 子育てプラザ活動事業（ここにこサークルの開催）

4 この子の輝く学び創造事業

豊かな人間性と確かな学力の育成を目指し切れ目ない教育を行う小中一貫教育を実施するとともに、未来を生き抜く力のある子どもを育成するため、英語教育、キャリア（生き方）教育等時代の要請に対応した教育を充実します。

- 小中一貫教育推進事業
- 英会話のできる豊橋っ子育て事業
- ワクワク・ワーク・イン・とよはし推進事業
- 教育活動支援事業（少年少女発明クラブ補助金）

●その他

○地域優良賃貸住宅供給促進事業

- ・従来からの高齢者向けの支援に加え、子育て世帯を対象に家賃補助と整備費補助を行い、子育てしやすい住宅環境を整えます。

○文化がみえるまちづくり事業、教育活動支援事業（文化芸術体験推進事業）（再掲）

- ・児童生徒に優れた芸術や伝統文化を鑑賞・体験する機会を提供し、豊かな感性を育みます。

○学校給食管理事業（地元農産物活用推進）

- ・地元農産物を栽培・収穫し給食で食べることで「食」と「農」について学ぶ体験学習を実施します。

3-3 地域ぐるみの子育て応援

官民が連携してワーク・ライフ・バランスの普及を推進し、子育てと仕事との両立を図ります。あわせて子育て家庭を応援する地域づくりを促進します。

重要業績評価指標（KPI）	基準値	目標値
子育て応援企業認定事業所数（累計）	89事業所 （平成26年度）	200事業所 （平成31年度）

1 赤ちゃん楽々おでかけ事業

子育て世代が赤ちゃんを連れて気軽に出かけられるまちを目指して、おむつ替えや授乳のできる「赤ちゃんの駅“Baby ほっ”（べびほっ）」の設置を市内各所の公共施設に拡大するほか、民間事業所における設置を支援します。

- ◎子育て応援企業認定・表彰事業
- ◎赤ちゃんの駅普及・促進事業

2 みんなで子育て応援事業

子育て世代の仲間づくりを地域で支えるとともに、学校、家庭、地域住民が連携し、大人と子どもが「顔が見える関係」を築き上げるなど、地域ぐるみで子どもを育てる環境をつくります。また、家庭内で子育ての協力が得られやすい三世同居や近居の促進を検討します。

- 子育てプラザ活動事業（ここにこサークルの開催）（再掲）
- こんにちは赤ちゃん訪問事業（民生委員児童委員、主任児童委員による訪問）
- 三世同居・近居促進検討事業
- 学校運営支援事業（地域教育ボランティア推進事業）
- 土曜日の教育活動モデル事業

3 ワーク・ライフ・バランス推進事業

仕事と子育てが両立できるよう講演会や交流会の開催を通し、男性の育児参加も含めた子育てに対する意識の向上を図るとともに、企業におけるワーク・ライフ・バランスの取組みに対して支援を行います。

- 子ども・子育て応援プラン推進事業（ワーク・ライフ・バランスの啓発）
- 男女共同参画啓発事業
- 男女共同参画センター管理運営事業（ライフアップセミナーの開催）（再掲）